



2019年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月8日

上場会社名 株式会社 アイフィスジャパン
 コード番号 7833 URL <https://www.ifis.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理担当
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 大沢 和春
 (氏名) 大澤 弘毅
 TEL 03-6825-1250

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	4,184	3.9	666	1.7	670	1.4	439	1.6
2018年12月期第3四半期	4,028	11.5	655	31.8	661	32.8	432	38.2

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 435百万円 (1.4%) 2018年12月期第3四半期 429百万円 (37.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	45.45	
2018年12月期第3四半期	44.75	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第3四半期	4,688	3,942	84.1	408.16
2018年12月期	4,511	3,584	79.5	371.10

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 3,942百万円 2018年12月期 3,584百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		0.00		8.00	8.00
2019年12月期		0.00			
2019年12月期(予想)				18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700	4.6	870	4.4	870	3.8	574	4.5	59.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期3Q	10,242,000 株	2018年12月期	10,242,000 株
期末自己株式数	2019年12月期3Q	582,305 株	2018年12月期	582,239 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期3Q	9,659,753 株	2018年12月期3Q	9,659,763 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年12月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値と比較を行っております。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の向上や雇用・所得環境の改善などにより緩やかな回復基調が継続しております。一方で、海外情勢では米中貿易摩擦の長期化による世界経済への影響、英国のEU離脱問題などの政治情勢、それに伴う金融資本市場の変動などの懸念もあり先行き不透明な状況が依然継続しております。当社事業と関連性が高い国内証券市場においては、年初日経平均株価が19,000円台まで落ち込む場面もありましたが、22,000円台まで回復して推移しました。また、投資信託市場においては純資産総額の増加傾向は鈍化しており、公募投資信託の本数及び新規設定本数も依然、微減傾向が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、投資情報事業、ドキュメントソリューション事業、ファンドディスクロージャー事業において増収となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,184百万円(前年同期比155百万円増、3.9%増)、営業利益は666百万円(前年同期比11百万円増、1.7%増)となりました。また、経常利益は670百万円(前年同期比9百万円増、1.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は439百万円(前年同期比6百万円増、1.6%増)となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、前年同期比較については変更後の区分方法に組み替えた数値と比較しております。詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」をご参照ください。

<投資情報事業>

ネット証券会社に提供している個人投資家向けコンテンツ開発案件の受注好調が継続しております。また、連結子会社である株式会社キャピタル・アイが提供する資本市場関係者向けリアルタイムニュース『キャピタルアイ・ニュース』、株式会社金融データソリューションズの機関投資家向け業務支援アプリケーションなども堅調に推移しております。

その結果、売上高は1,041百万円(前年同期比48百万円増、4.9%増)、営業利益は468百万円(前年同期比54百万円増、13.3%増)となりました。

<ドキュメントソリューション事業>

証券・生命保険資料の印刷・配送、確定拠出年金関連サービス、連結子会社の株式会社東京ロジプロの物流サービス、株式会社アイコスの翻訳通訳サービスは業績が好調に推移しております。

その結果、売上高は1,376百万円(前年同期比159百万円増、13.1%増)、営業利益は161百万円(前年同期比41百万円増、34.9%増)となりました。

<ファンドディスクロージャー事業>

投資信託市場においては純資産総額の増加傾向の鈍化、公募投資信託の本数及び新規設定本数も微減傾向が続いており、これらの影響により当社における投資信託関連の印刷受注量は前年同期比微増、体制強化による販管費の増加もあり、その結果、売上高は1,168百万円(前年同期比11百万円増、1.0%増)、営業利益は279百万円(前年同期比23百万円減、7.8%減)となりました。

<ITソリューション事業>

主力事業である事業会社向けの受託開発を行っているビジネスソリューションの受注は堅調に推移しておりますが、開発体制強化に伴う販売費及び一般管理費の増加、前年の大型案件との差分を埋めきれず、前年同期比では減収減益となっております。

その結果、売上高は597百万円(前年同期比62百万円減、9.5%減)、営業利益は16百万円(前年同期比56百万円減、77.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ177百万円増加し、4,688百万円となりました。

流動資産合計は229百万円増加し、3,970百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が181百万円増加したことに加え、受取手形及び売掛金が19百万円増加したことによるものであります。

固定資産合計は52百万円減少し、718百万円となりました。主な要因は、のれんが償却により43百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ180百万円減少し、746百万円となりました。

流動負債は182百万円減少し、621百万円となりました。主な要因は、未払法人税等が121百万円減少したことによるものであります。固定負債は前連結会計年度末とほぼ同額の124百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ357百万円増加し、3,942百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益439百万円の計上による増加と、剰余金の配当77百万円による減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年2月8日公表の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,127,500	3,308,619
受取手形及び売掛金	524,968	544,677
仕掛品	45,918	64,972
その他	42,562	52,579
流動資産合計	3,740,948	3,970,848
固定資産		
有形固定資産	60,435	55,059
無形固定資産		
のれん	343,422	299,904
ソフトウェア	75,972	110,478
ソフトウェア仮勘定	10,950	—
その他	1,469	1,469
無形固定資産合計	431,814	411,853
投資その他の資産	278,550	251,213
固定資産合計	770,799	718,125
資産合計	4,511,748	4,688,974
負債の部		
流動負債		
買掛金	223,585	228,782
未払法人税等	194,598	73,514
賞与引当金	39,468	53,596
その他	346,507	265,890
流動負債合計	804,159	621,782
固定負債		
退職給付に係る負債	12,756	14,482
その他	110,074	109,982
固定負債合計	122,830	124,464
負債合計	926,989	746,247
純資産の部		
株主資本		
資本金	382,510	382,510
資本剰余金	438,310	438,310
利益剰余金	2,834,368	3,196,164
自己株式	△77,929	△77,975
株主資本合計	3,577,258	3,939,008
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△366	△440
為替換算調整勘定	7,866	4,158
その他の包括利益累計額合計	7,500	3,718
純資産合計	3,584,758	3,942,726
負債純資産合計	4,511,748	4,688,974

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	4,028,558	4,184,323
売上原価	2,403,532	2,505,539
売上総利益	1,625,025	1,678,783
販売費及び一般管理費	969,782	1,012,079
営業利益	655,243	666,704
営業外収益		
受取利息	1,354	769
受取配当金	178	163
持分法による投資利益	2,220	2,025
為替差益	246	—
助成金収入	1,500	1,820
その他	525	843
営業外収益合計	6,024	5,622
営業外費用		
為替差損	—	1,765
その他	15	11
営業外費用合計	15	1,776
経常利益	661,252	670,549
特別損失		
固定資産除却損	30	5
特別損失合計	30	5
税金等調整前四半期純利益	661,221	670,544
法人税、住民税及び事業税	232,658	208,934
法人税等調整額	△3,731	22,536
法人税等合計	228,926	231,470
四半期純利益	432,295	439,073
親会社株主に帰属する四半期純利益	432,295	439,073

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	432,295	439,073
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△116	△74
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,757	△3,707
その他の包括利益合計	△2,873	△3,781
四半期包括利益	429,421	435,292
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	429,421	435,292

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)3	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	投資情報 事業	ドキュメン トソリューション 事業	ファンドデ ィスクロー ジャー事業	ITソリ ューショ ン事業				
売上高								
外部顧客への売上高	993,000	1,216,954	1,156,793	660,412	1,397	4,028,558	—	4,028,558
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	11,151	—	41,022	—	52,173	△52,173	—
計	993,000	1,228,106	1,156,793	701,434	1,397	4,080,732	△52,173	4,028,558
セグメント利益又は 損失(△)	413,542	119,484	302,951	72,716	△1,742	906,951	△251,708	655,243

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△251,708千円には、セグメント間取引消去△493千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△251,214千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)3	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	投資情報 事業	ドキュメン トソリューション 事業	ファンドデ ィスクロー ジャー事業	ITソリ ューショ ン事業				
売上高								
外部顧客への売上高	1,041,642	1,376,684	1,168,380	597,616	—	4,184,323	—	4,184,323
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6,256	—	39,583	—	45,840	△45,840	—
計	1,041,642	1,382,940	1,168,380	637,199	—	4,230,163	△45,840	4,184,323
セグメント利益又は 損失(△)	468,510	161,147	279,370	16,307	—	925,335	△258,631	666,704

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△258,631千円には、セグメント間取引消去△5,983千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△252,648千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、より事業の実態に即した採算管理を行うため「ドキュメントソリューション事業」に含めていた事業法人向けIFIS IR Manager、IFIS Research Manager、IFIS Consensus Managerを「投資情報事業」に、「ファンドディスクロージャー事業」に含めていた確定拠出年金関連サービスと「ITソリューション事業」に含めていたタブレットソリューションを「ドキュメントソリューション事業」に移管しました。これに伴い、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、当第3四半期連結累計期間の表示に合わせて組替再表示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。